

北海道札幌国際情報高等学校吹奏楽部

“SIT Band”

Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological High School Band



「競わない吹奏楽部」

～私たちは、活動のモチベーションをコンテストに求めない。ただ純粋に演奏に向き合い、高まってゆく～

札幌市北区にある道立進学型専門学科集合高校の吹奏楽部。1997(平成9)年、学校創立3年目に創部。今年で22周年を迎える。これまでに、荒川正康・永喜多千春・尾野昭二・小林忠弘・佐々木晃の指導の下、多くの卒部生を輩出してきた。現在、部長：高谷佳樹 エグゼクティブプロデューサー：上田昇 監督：小出學 コーチ：西谷舞・福井遥香・田上仁が指導を担当。「より素敵な演奏」の実現に向けて、自主自律と協調を基盤とし、進路実現との両立を図りながら、練習と運営に取り組んでいる。

2013(平成25)年秋からは、新しいコンテンツとして「ダンプレ」を導入。大編成の利点を活用した「フルダンプレ」、公演会場の広さや主催者の要望に合わせ構成する「チームダンプレ」、ダンプレ創始者である現監督が指導する「本家ダンプレ」の三要素で、この北海道発祥の新しい文化の発信を続けている。

ありがたいことに、毎年、様々な演奏依頼をいただき、年間約50公演を実施している。2017(平成29)年5月には、北海道庁から派遣要請され、ホノルル市でのハワイ州北海道友好提携署名式でのライブを、2018(平成30)年7月には、全国教育長会議・全国知事会議の席上で、同年8月5日の北海道150年記念式典ではダンプレライブを、また、DREAMS COME TRUE ライブでのゲスト出演など、プロアーティストとの共演の機会もいただいている。2017(平成29)年7月のTEDxSapporo2017へのスピーカー出演・パシフィックミュージックフェスティバル2017でのゲストライブを始め、東京都千代田区・浜松市・旭川市・帯広市・苫小牧市・千歳市・岩見沢市・恵庭市・小樽市・江別市・池田町・美幌町・早来町および札幌市内各所で、様々なゲストライブを重ねる他、テレビ番組や新聞・雑誌などで、数多くご紹介いただいている。2017(平成29)年9月、これら公演での市民を笑顔にする実績を評され、札幌青年会議所より「サッポロスマイルアワード2017 YOUTH賞」をいただいた。

社会貢献活動としては、老人福祉施設・障害者施設・幼稚園や小学校への訪問公演や、日頃、ライブ会場に出かけられない方々を招いての特別公演を数多く行う他に、H28(2016)年の十勝地方台風10号被災復興支援チャリティ公演を皮切りに、熊本県地震・胆振東部地震・台風15号千葉県被災などの復興支援募金への参加を重ねている。また、R01(2019)年7月からは、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)への支援活動を開始した。

2019.07.24に第25期バンド139名は解散し、23期部員は引退した。現在、1,2年97名による26期バンドで活動中。よりお客様に楽しんでいただくことを大切に、座奏とダンプレ・合唱のライブパフォーマンスの向上を目指し、日々の練習に励んでいる。

(2019年09月)